

排出量取引実績等の解説

1 取引実績等

2 第一計画期間(整理期間含む)及び第二計画期間の需給量推計

【参考資料】

「東京都の排出量取引制度に関するアンケート」主な調査結果





1 取引実績等

クレジットの取引状況

(H27.9.30 時点)

移転種類		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計	備考
指定管理口座から 一般管理口座への移転		0 t-CO ₂ (0件)	6,307 t-CO ₂ (10件)	132,623 t-CO ₂ (73件)	534,531 t-CO ₂ (103件)	177,509 t-CO ₂ (58件)	850,970 t-CO ₂ (244件)	事業所の削減した数値 から取引可能なクレジット トへ
一般管理口座間の移転		20,576 t-CO ₂ (4件)	19,659 t-CO ₂ (6件)	32,072 t-CO ₂ (17件)	26,410 t-CO ₂ (29件)	8,452 t-CO ₂ (13件)	107,169 t-CO ₂ (69件)	所有者が変 わる一般的な 意味での排出 量取引
内訳	超過削減量	0 t-CO ₂ (0件)	286 t-CO ₂ (1件)	3,441 t-CO ₂ (3件)	6,260 t-CO ₂ (12件)	6,744 t-CO ₂ (10件)	16,731 t-CO ₂ (26件)	
	都内中小クレジット	19 t-CO ₂ (1件)	59 t-CO ₂ (1件)	7,629 t-CO ₂ (9件)	8,141 t-CO ₂ (7件)	1,708 t-CO ₂ (3件)	17,556 t-CO ₂ (21件)	
	再エネクレジット (環境価値換算量)	7,285 t-CO ₂ (1件)	7,423 t-CO ₂ (1件)	8,136 t-CO ₂ (1件)	8,235 t-CO ₂ (1件)	0 t-CO ₂ (0件)	31,079 t-CO ₂ (4件)	
	再エネクレジット (その他削減量)	13,272 t-CO ₂ (2件)	11,891 t-CO ₂ (3件)	12,866 t-CO ₂ (4件)	3,774 t-CO ₂ (9件)	0 t-CO ₂ (0件)	41,803 t-CO ₂ (18件)	
一般管理口座から指定管理口 座への移転		6,670 t-CO ₂ (3件)	3,315 t-CO ₂ (6件)	5,742 t-CO ₂ (14件)	6,265 t-CO ₂ (10件)	1,623 t-CO ₂ (5件)	23,615 t-CO ₂ (38件)	将来の義務充当に向け た移転
義務充当		2,095 t-CO ₂ (1件)	6,909 t-CO ₂ (6件)	6,700 t-CO ₂ (15件)	6,679 t-CO ₂ (7件)	1,736 t-CO ₂ (6件)	24,119 t-CO ₂ (35件)	
合計		29,341 t-CO ₂ (8件)	36,190 t-CO ₂ (28件)	177,137 t-CO ₂ (119件)	573,885 t-CO ₂ (149件)	189,320 t-CO ₂ (82件)	1,005,873 t-CO ₂ (386件)	

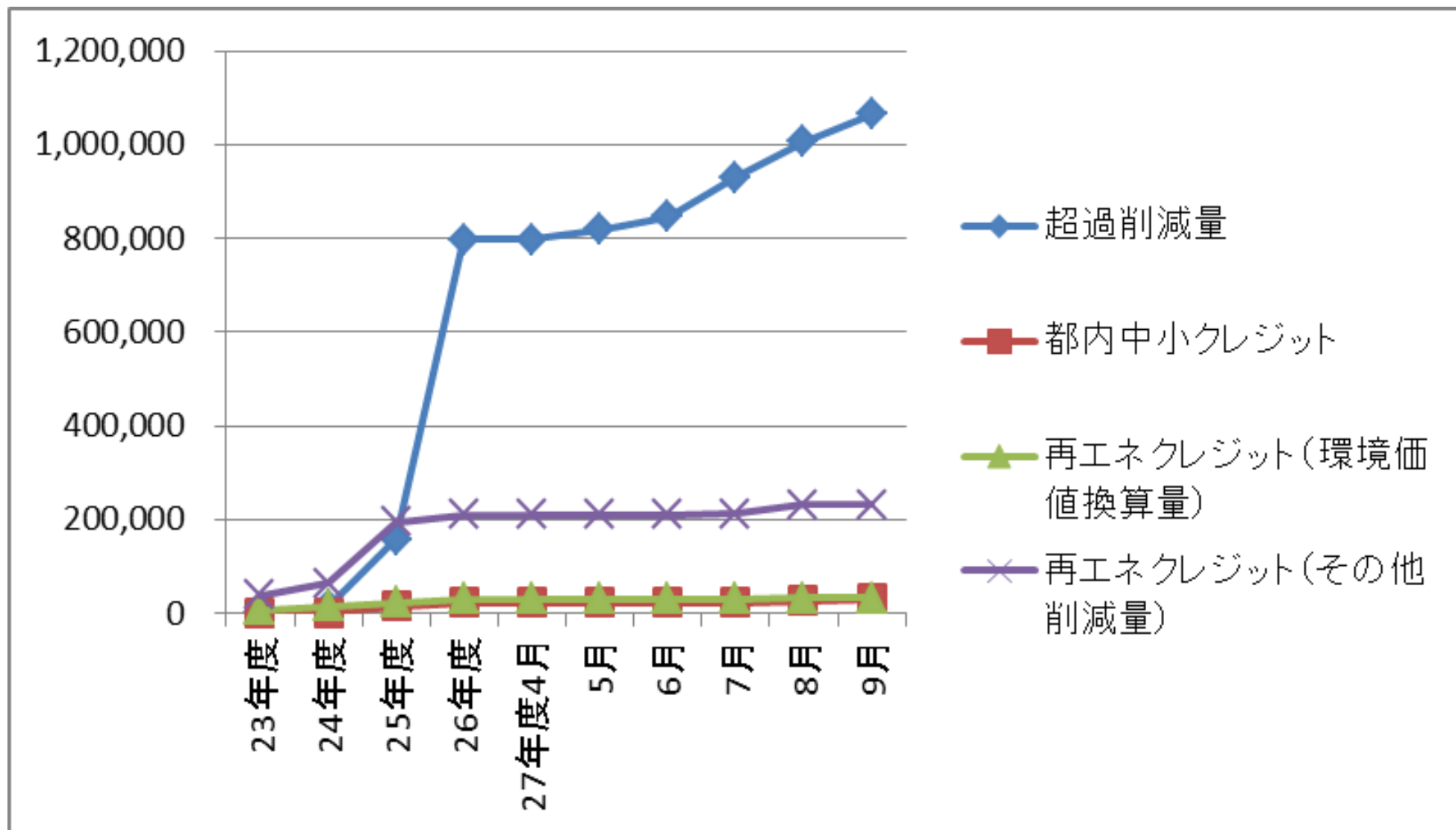
クレジットの発行状況

(H27.9.30 時点)

年度	超過削減量		都内中小 クレジット		再エネクレジット (環境価 値換算量)		再エネクレジット (その他 削減量)		合計
	件	t-CO ₂	件	t-CO ₂	件	t-CO ₂	件	t-CO ₂	t-CO ₂
23	0	0	3	117	1	7,285	22	39,244	46,646
24	19	15,700	14	1,094	1	7,423	16	23,777	47,994
25	72	141,417	269	14,255	2	8,209	22	132,490	296,371
26	115	641,257	144	7,929	2	8,636	14	13,725	671,547
27	62	266,839	168	7,521	1	133	10	21,745	296,238
計	268	1,065,213	598	30,916	7	31,686	84	230,981	1,358,796

クレジットの発行累計

(H27.9.30 時点)



オフセットクレジットの事前申請状況

都内中小クレジット、再エネクレジット（環境価値換算量）、都外クレジットの3つの合計で、約**21万t-CO₂**の創出が見込まれる。

※一部は、第2計画期間になってからクレジット化される。

＜オフセットクレジットの事前申請状況＞（H27.9.30 時点）

都内中小クレジット	103,857t-CO₂ ※5年間合計（ 523件 ）	
再エネクレジット （環境価値換算量）	太陽光	3,242kW （ 7件 ）
	特定バイオマス	0kW （ 0件 ）
	水力 _(1,000kW以下)	90kW （ 1件 ）
	水力 _(1,000kW超10,000kW以下)	0kW （ 0件 ）
	計11,341t-CO₂ ※5年間合計、都独自推計	
都外クレジット	95,999t-CO₂ ※5年間合計（ 9件 ）	

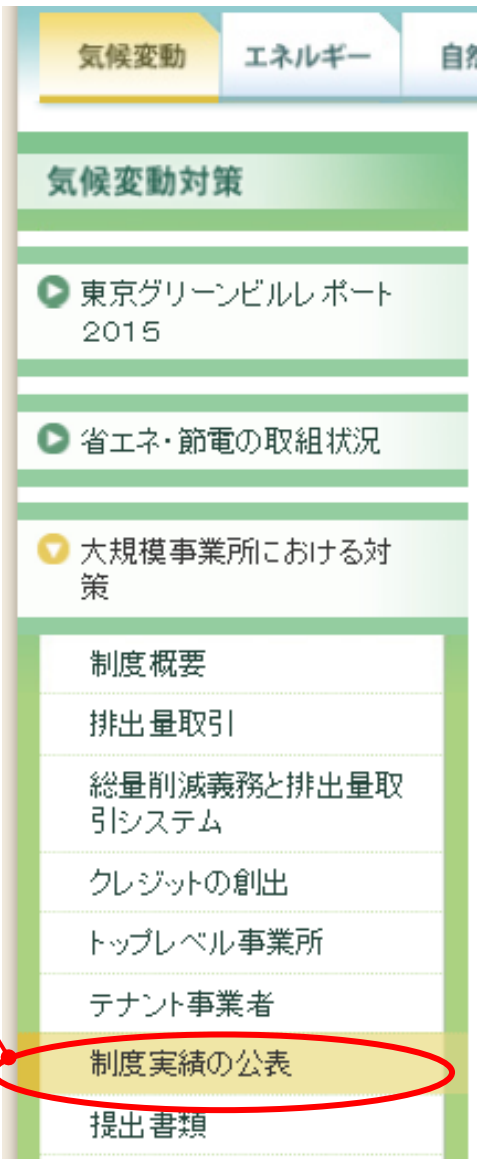
（参考）その他ガス削減量：**455,967t-CO₂**（**17件**）

※実際の発行量は排出（発電）実績等により変動する。

排出量取引に関する情報公開について

クレジットの発行量や取引量など、排出量取引に関する情報を東京都環境局HPで公表しています。

＜制度実績の公表＞
https://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large_scale/data.html
 に、「排出量取引に係る情報」としてPDFファイルを掲載



排出量取引等に係る情報 (2014年〇月)

1 クレジット等の発行 (クレジット等の発行量(量の単位はt-CO₂) (平成26年度))

クレジット等の種類	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	
超過削減量	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX
都内中小クレジット	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX
再エネクレジット(環境価値換算)	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX
再エネクレジット(その他削減量)	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX
都外クレジット	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX
その他削減量	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX
合計	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX

(2) クレジット等の発行先(平成26年4月1日～〇月31日) クレジット等の発行先は、発行先口座の口座名義人が希望した場合に限り公表されます。

口座番号	口座名義人の名称	クレジット等の種類	発行量	発行月
XXX	XXXXXXXX	XXXXXX	XXX	〇月

(3) オアセットクレジット等として事前申請のあった事業(～平成26年〇月31日) この情報は、毎年度4月と10月に更新します。


都内中小クレジット	再エネクレジット(環境価値換算)		都外クレジット	
	量(t-CO ₂)	件数	量(t-CO ₂)	件数
XXX	XXX	XXX	XXX	XXX

※1 この情報の発表の元となる申請について、東京都の審査が完了していないため、審査の進捗や値が変わる可能性があります。また、事前申請による種類であって将来の発行量は排出(廃棄)実績により変動する。
 ※2 「都内中小クレジット事業申請書審査結果発表(受入)届出書」の提出件数を集計し、当該届出書に記載されている「7」欄(削減量(使用)) (発行可能期間の合計)を合計した。
 ※3 再エネクレジット(その他削減量)は、事前申請に当たって段階別認定申請の手続きがないため、公表しない。
 ※4 「再生可能エネルギー一般削減量(変更)申請書」の提出件数を再生可能エネルギーの種類ごとに集計し、当該申請書に記載されている「発電設備等」を合計した。
 ※5 「都外クレジット事業申請書」の提出件数を集計し、当該申請書に記載されている「認定取得のクレジット(認定期間合計)」を合計した。
 ※6 「その他削減量算定書」の提出件数を集計し、当該報告書に記載されている「その他削減量」の欄を5桁(5桁未満合計)したものを合計した。

2 クレジット等の移転量 (量の単位はt-CO₂) (平成26年4月1日～〇月31日)

(1) クレジット等の移転量

管理口座の種類	超過削減量		都内中小クレジット		再エネクレジット(環境価値換算)		再エネクレジット(その他削減量)		都外クレジット		その他削減量		合計	
	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数
指定管理口座から一般管理口座への移転	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX
一般管理口座間の移転	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX
指定管理口座から一般管理口座への移転	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX
義務充当	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX
合計	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX	XXX	XX



2 第一計画期間(整理期間含む)及び 第二計画期間の需給量推計

需給量推計とは

第一計画期間及び第二計画期間のクレジットの需要量及び供給量について

- 都が保有する情報等に基づき推計

- 今後の傾向を示したもの

- クレジットの需要量

 - 排出量取引により、クレジットを調達する必要がある量

- クレジットの供給量

 - 発行されるクレジットのうち、取引の対象となっている(と思われる)量

需給量推計の考え方

都の保有する情報に基づき、今後のクレジットの需要と供給の**傾向**を示したものの。

需要量・供給量共通

- ・平成25年度の排出実績が継続すると仮定して各事業所の排出量を推計
- ・第二計画期間の排出係数変更に伴う基準排出量の再計算・バンキングの増量は考慮せず

クレジットの需要量

- ・排出量の推計の結果、削減不足となる事業所の不足量を合計(新たな排出実績があるわけではないので、平成27年6月取引セミナーからの変更点なし)

クレジットの供給量 **平成27年6月取引セミナーからの変更点**

- ・クレジットの発行見込量のうち、実際に所有者等が売却を考えている量を推計
- ・平成27年8月に都が実施したアンケート(以下「アンケート」)結果からクレジットの購入に関する意向を分析し、供給見込量を再度推計

需給量推計値の更新

○都は、最新のデータに基づき推計量を定期的に更新、年2回の取引セミナーにおいて公表

- ・クレジットの需要量

 - 毎年11月に提出される報告書の集計結果に基づき更新

 - 6月セミナーで公表

- ・クレジットの供給量

 - 毎年8月に都が実施する事業者へのアンケート結果に基づき更新

 - 11月セミナーで公表

○今回の推計

→第一計画期間整理期間に入った平成27年8月に実施したアンケート結果が判明したため、クレジット保有事業者の、取引市場へのクレジット供給の最新の意向を反映

第一計画期間の供給量の推計

1 クレジットの供給量(第一計画期間)推計方法

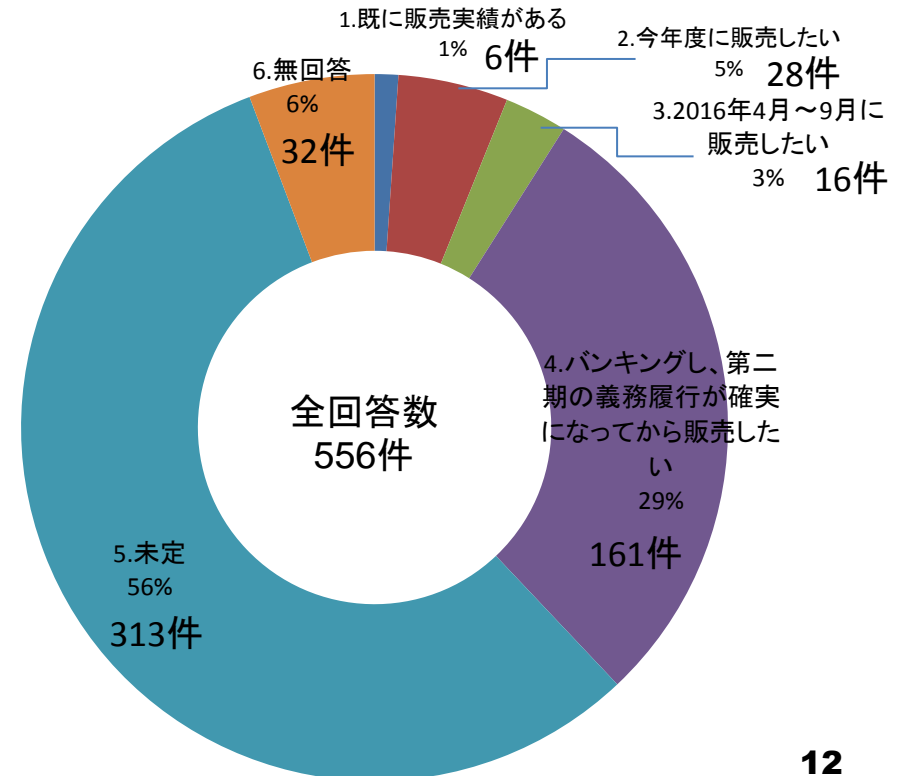
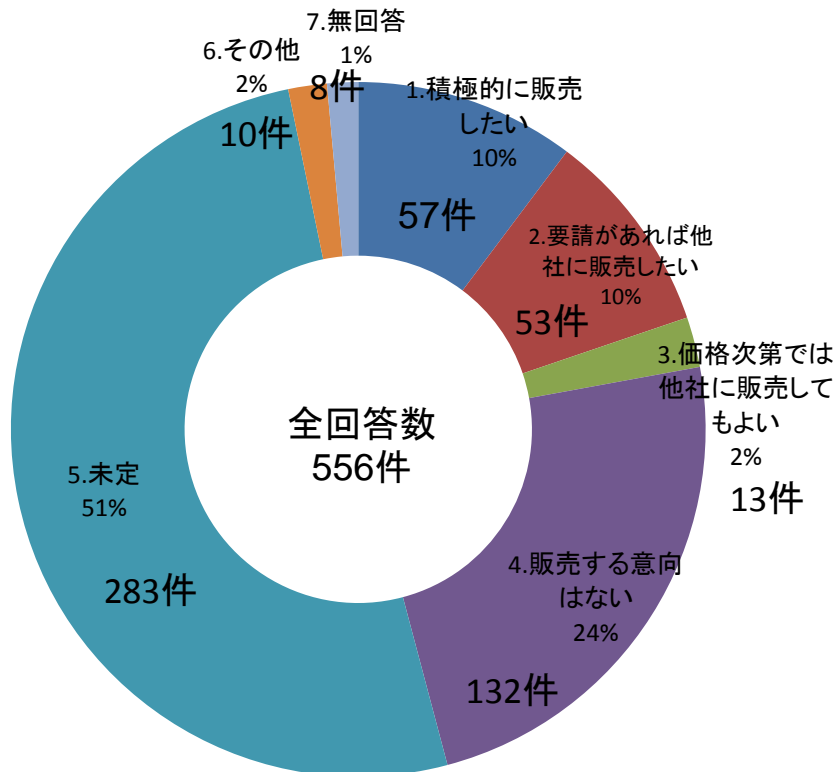
(1) 使用するアンケート回答データ

①Q5 クレジットの販売意向に関する回答

→各事業者の積極的な販売意向の程度を確認

②Q6 クレジットの販売時期に関する回答

→各事業者の具体的な販売希望時期の有無を確認

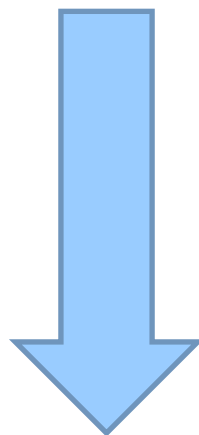


第一計画期間の供給量の推計

1 クレジットの供給量(第一計画期間)推計方法

(2) 供給量推計のフロー

- ・クレジットの販売に関する2つの設問(販売意向(Q5)及び販売希望時期(Q6))への回答内容によって事業者を分類 (クロス集計)



- ・アンケートは事業者単位で回答
- ・事業者による、具体的な市場へのクレジット供給見込量をトン(t)数で推計するために

回答した事業者の所有する全事業所の、(平成25年度の排出実績が継続すると仮定した)第一計画期間のクレジット保有推定量を合算 (万t-CO2単位)

第一計画期間の供給量の推計

1 クレジットの供給量(第一計画期間)推計方法

(3) クロス集計結果

単位: 万t-CO₂

販売意向(Q5) 販売希望時期(Q6)	積極的 販売	要請が あれば	価格 次第	販売する 意向はな い	未定	その他	総計
既に実績あり	6	37			4	1	48
2015年度に	25	23	6				54
整理期間(2016年4月~2016年 9月)に	21	1	3				25
バンキングし、第二期の義務履 行が確実にってから	15	38	15		67	31	166
未定	18	12	4	49	220	3	306
総計	85	111	28	49	291	35	599

※ アンケートQ5で「販売する意向はない」を選択しつつQ6で「バンキングし、第二期の義務履行が確実にってから」を選択した回答については、内容に矛盾があるため、「その他」に計上した。

第一計画期間中に販売するとされた量は約127万t-CO₂

第一計画期間中に「積極的に」販売するとされた量は約52万t-CO₂

第一計画期間の推計

2 需給量推計結果 今回の新たな推計値

単位: 万t-CO₂

項目	説明	H27.6排出量取引セミナー発表値(参考)	今回集計
クレジットの 需要見込量 ※1	第一計画期間の義務履行に際してクレジットの購入等が必要となる量		約20~30
超過削減量の 発行見込 量	第一計画期間中に発行されうる超過削減量の総量		約953
超過削減量の 供給見込 量	超過削減量の発行見込量のうち取引の対象となる量(うち、積極的な販売意向のある量)	約154(約35) ※2	約127(約52) ※3

※1 平成25年度の排出実績が平成26年度も継続すると仮定して推計

※2 平成26年8月に実施したアンケート結果を元に意向を分析し推計

※3 平成27年8月に実施したアンケート結果を元に意向を分析し推計

第一計画期間の推計

2 需給量推計結果

《今回の新たな推計値についての分析》

○整理期間を迎えたが、クレジットの発行見込量のうち、市場に供給されるのは一部に限る、という従来への傾向に大きな変化はない。

○販売意向(Q5)及び販売希望時期(Q6)とともに積極的な姿勢を示した事業者は、市場へクレジットを供給する本気度が高いと推察される。市場で買い手がクレジットを探す場合、この「積極的に」販売するとされた量約52万t-CO₂が目安になるのではないかと。

第二計画期間の推計※1（参考）

単位：万t-CO₂

項目	説明	H27.6排出量取引セミナー発表値
クレジットの需要見込量 ※2 ※3	第二計画期間の義務履行に際してクレジットの購入等が必要となる量	約75～105
第一期からのバンキング見込量	第一計画期間に義務充当されずにバンキングされる量（うち、第二期自己利用量）	約970～980 （約25）
超過削減量発行見込量	第二計画期間に新たに発生する超過削減量	約630
失効する第一期クレジット見込量※4	有効期限経過により失効する第一計画期間のクレジット量	約840～880

※1 今回のアンケートによってH27.6取引セミナー推計値から変更になる箇所はありません。

※2 平成25年度の排出実績が第二計画期間末まで継続すると仮定して推計

※3 同一事業所が第一計画期間に超過削減となる場合（第一期超過・第二期不足）は、その超過削減量を自ら利用した後の不足量

※4 第二計画期間の義務履行に際して全て第一計画期間のクレジットが義務充当されたと仮定した場合の量。第二期超過削減量を義務充当すること等により増加することに注意

Tokyo Climate Change Strategy

首都東京の企業と行政、NGO・都民が
連携して取り組む先駆的な温暖化対策